

### Ⅲ 各事業の実施報告

( )内は最終予算額

#### 1 受地づくり推進事業 (公益目的事業1)

##### (1) 観光魅力づくり事業 決算額 1,094,988円(2,100千円)

誘客効果の高い「開運八社巡り」や岡山県との連携事業により、本県観光の魅力づくりを推進した。

###### ア 「開運八社巡り」の実施

縁起の良い名前を持つ神社八社と、干支に因んだ所縁神社を巡る「因幡伯耆國開運八社巡り」を県内外に広くPRし、県内周遊を促進した。また、各種広報媒体への掲載や旅行商品化によって多くの誘客につながった。

<旅行商品化>

読売旅行「子年に行く！因幡伯耆國開運八社巡り日帰り」(鳥取発：令和2年2月)

<商品売上>

開運手ぬぐい(亥年)：2,459枚販売(平成30年12月から令和元年12月)

開運手ぬぐい(子年)：1,686枚販売(令和元年12月から令和2年3月)

招福良宮巡り福紗：312枚販売(平成31年4月から令和2年3月)

###### イ 広域観光推進事業

鳥取・岡山両県共同で、観光PRイベント及び店頭キャンペーンの開催、ドライブマップの増刷・改訂を実施したほか、高速道路のサービスエリアでパンフレットラックへドライブマップの掲出を行った。

- ・両県共同アンテナショップでの観光PRイベント(令和元年9月7日)と観光PRキャンペーン(令和元年9月7日から10月15日)を実施。
- ・主な高速道路サービスエリア(龍野西、西宮名塩、土山)にパンフレットを掲出。
- ・両県観光連盟のポータルサイトで、推奨モデルコースを紹介し情報発信。

##### (2) 出会いふたたび鳥取の旅づくり事業 決算額 10,017,385円(10,532千円)

「個人・グループ旅行誘致」を中心とした誘客対策として、「魅力的な観光素材の磨き上げ」「旬な情報の適時・的確な提供」「お客様の意見や声の把握」など、顧客視点に立った鳥取の旅を提案できる仕組みづくりを推進した。

###### ア 体験プログラム情報発信事業

- ・日本最大級のレジャー・体験予約サイト「asoview!」において、WEBプロモーションを実施した。前年度の運用を踏まえ、体験需要が集中する時期(GW、夏休み等)に重点的にリスティング広告を展開した。
- ・過去に体験申込された県外の特定条件に該当する方に対し、アソビュー(株)のメールマガジンを活用し、鳥取県で体験できるギフトをプレゼントするキャンペーン(9月1日～24日)を実施した。
- ・鳥取県ブランドページの修正に係る費用や手間を軽減するため、システムを変更し、季節に応じた体験の露出ができるようにした。
- ・リスティング広告を実施した4～9月の予約組数は5,230件で、そのうち広告で獲得した件数は357件と全予約数の約7%を占め、ターゲットやキーワードによる設定、広告に表示させるURLなど綿密な広告の設計により、効果的な広告を実施することができた。

###### イ 観光パスポート発行事業

- ・観光パスポート「トリパス」を年2回発行し、本県観光地を周遊する楽しみ方等を紹介する特集ページ、観光施設をお得に利用できる割引特典クーポン、応募によって賞品が当たるスタンプラリーを掲載し、宿泊、周遊、再来訪等を促進した。
- ・旅行会社のパンフレット等にも掲載された。

###### 【春旅・夏旅キャンペーン】

期間：平成31年4月1日(月)～令和元年9月30日(月)

宣伝物：トリパス(A6・44頁)9万部、チラシ4万部、各種POP(ポスター等)

優待特典協力施設数：180施設

###### 《スタンプラリー応募状況》

ご当地特産品が当たるスタンプラリー 応募数：2,602通(前年2,289通)

### 【秋旅・冬旅キャンペーン】

期 間：令和元年10月1日（火）～令和2年3月31日（火）

宣伝物：トリパス（A6・44頁）7万部、チラシ2万部、各種POP（ポスター等）

優待特典協力施設：182施設

#### 《スタンプラリー応募状況》

万葉牛等特産品やサンドグッズが当たるスタンプラリー 応募数：1,579通  
（前年1,591通）

### （3）教育旅行誘致促進事業 決算額 13,080,608円（15,173千円）

教育旅行誘致コーディネーターを事務局に1名配置して、県内における農家民泊や体験メニュー等受入態勢の充実に取り組んだ。関西地区を中心に、教育旅行のキャラバン・情報説明会など誘致活動を展開した。また、関西地区にある旅行会社の教育旅行担当者を対象に、本県の教育旅行に係る最新情報を説明し、県内観光関係者と旅行会社との商談の場や視察会を実施した。

#### ア 教育旅行誘致活動

##### ① 関西地区における教育旅行キャラバン

- ・開催日：令和元年7月9日（火）
- ・参加者：協議会員12名、事務局3名 合計15名
- ・訪問先：大阪市内、羽曳野市内、和泉市内の中学校（16校）

##### ② 情報発信機能の強化

###### ・教育旅行ガイドブックの刷新

本県の教育旅行の魅力発信、認知度向上、誘客の促進に繋げることを目的とし、本県の魅力を伝える通年のツールとして、ガイドブックを刷新した。（前回は平成27年度に作成）

- ・教育旅行ガイドブックは教育旅行取扱い旅行会社へ配布した。さらに教育旅行に関する情報を毎月1回以上配信（とっとり観光ニュース、令和関連等 136登録アドレス）。関西地区旅行会社への毎月1回程度の定期訪問も併せて実施した。

##### ③ 教育旅行情報説明会

関西地区における教育旅行情報説明会

- ・開催日：令和元年8月6日（火）
- ・参加者：旅行会社、教育旅行関係団体、地元関係者等 39名
- ・実施内容：誘致促進協議会概要説明、体験施設等のプレゼンテーション、商談会

##### ④ 現地視察会

学校（教職員）、旅行会社を対象とした下見・現地研修会

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先（主なところ）
1	鳥取県教育旅行下見研修旅行	11/21～22	4	田中	体験（砂丘・大山）、民泊
2	鳥取県・島根県教育旅行視察研修	3/25～27	2	川角	砂丘（体験）、境港、倉吉

※上記のほかに、次年度の修学旅行について、下見を18回実施

##### ⑤ 教育旅行誘致支援補助金

「とっとりスタイルエコツーリズム」教育旅行誘致促進事業

- ・事業趣旨：本県で宿泊を伴う教育旅行を行う学校を対象とした宿泊費助成。
- ・支援内容：宿泊延べ人数×1,000円を補助（1団体上限30万円）
- ・支援実績：対象学校数及び対象人数・38校、延5,109名

#### 近年の県内への修学旅行催行実績及び予定

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
10校	6校	14校	25校	22校

#### イ 受入体制強化

大型修学旅行における農家民泊の分散受入れのため、調整を兼ねた受入会議を開催した。また、鳥取県として共通した受入体制を確立すべく、旅行会社対応、学校対応の面から協議を行った。さらに、アクティビティの受入れを円滑に行うため、関係者を集めた研修・協議を行った。その実施状況は、次のとおり。

月日	場 所	参加者及び協議内容
4月4日(木)	岩美町渚交流館	渚交流館、ディベロッパサーフ&シー ※旅行会社からの申込に当たり、受入条件書の内容を整備するため協議。
4月20日(土)	鳥取砂丘ビジターセンター	鳥取砂丘アクティビティ協会会員 砂丘事務所(ビジターセンター) ※旅行会社からの申込に当たり、受入条件書の内容を整備するため協議
4月23日(火)	佐治町 B&G 海洋センター	五しの里さじ地域協議会、智頭町民泊協議会 倉吉市体験型教育旅行誘致協議会 北栄町農家民泊推進協議会 ※関西地区中学校受入状況、峰塚中学校受入の協議確認。
4月24日(水)	関金総合文化センター	協議会会員24名、倉吉市役所1名 ※倉吉市体験型教育旅行誘致協議会総会出席
9月4日(水)	岩美町渚交流館	浦富海岸シーカヤック協議会 ※旅行会社からの申込に当たり、予約表の内容を確認・整備するため協議。
9月26日(木)	さじ式拾壺 事務所	KNT 関西大阪教旅支店、さじ協議会 ※峰塚中学校の実施に当たり、家業体験の内容を確認・調整するため協議。
1月15日(水)	鳥取県庁	五しの里さじ地域協議会、智頭町民泊協議会、 智頭町観光協会、倉吉市体験型教育旅行誘致協議会、 北栄町農家民泊推進協議会 ※次年度関西地区中学校動向(決定状況と見込)と課題共有
1月20日(月)	佐治町 B&G 海洋センター	西郷地区が佐治地区の補完的な対応として、農泊受入を 10家庭でスタート。細部に亘る打合せのためオブザーバー で出席

## ウ その他

### 鳥取県教育旅行誘致促進協議会総会

- ・開催日時：令和元年7月4日(火) 午後2時00分～午後3時30分
- ・場 所：エキパル倉吉 多目的ホール
- ・参加者：地元関係者 26名、鳥取県 2名、事務局他 6名
- ・開催内容：平成30年度活動報告・決算報告、令和元年度活動計画・予算計画、  
教育旅行説明会・教育旅行キャラバン計画、今後の教育旅行について

## (4) 観光人材育成・顕彰事業

決算額 783,367円(1,900千円)

観光産業関係者を対象に、誘客促進のスキルアップを目的として、人材育成研修を実施した。また、県内の観光協会等が行う人材育成事業に対し助成した。さらに、観光事業優良従業員を表彰した。

### ア 観光まちづくり人材育成研修事業

観光まちづくり人材育成研修((公社)日本観光振興協会助成事業)

- ・テ ー マ：デジタルマーケティングの活用
- ・開 催 日：①令和元年11月14日(木)  
場 所 米子コンベンションセンタービッグシップ  
②令和元年11月15日(金)  
鳥取県立生涯学習センター県民ふれあい会館
- ・講 師：株式会社マーケティング・ボイス 代表取締役社長 鶴本 浩司 氏
- ・受 講 者：52名
- ・概 要：ホームページやSNSを活用した効果的な情報発信の方法や事例等について研修した。

### イ 観光人材育成支援事業

- ・支援団体(第2種会員)：3団体

(団体名)	(事業名)
① (一社) 鳥取市観光コンベンション協会	会員向け研修会
② (一社) 倉吉観光MICE協会	観光ガイド現地研修
③ 湯梨浜町観光協会	湯梨浜町観光ガイド養成講座

#### ウ 観光事業功労者及び優良従業員表彰

- ・観光事業優良従業員の業績を評価し、6月25日の通常総会において表彰を行った。  
表彰者数：優良従業員 5人

#### エ 県内観光事業者向けセミナー開催

県内観光事業者を対象に、効果的なセールス活動、おもてなし向上を図るため、激動する旅行業界の動向、本県特産物の蘊蓄等についてセミナーを、年2回開催した。

##### ① テーマ：「蟹取県」セミナー

開催日：令和元年8月1日

開催場所：三朝町総合文化ホール

講師：鳥取県農林水産部水産振興局水産課 課長 平野 誠師  
鳥取県交流人口拡大本部観光交流局観光戦略課 主事 瀬戸川 直子

受講者：43名

概要：昨冬、松葉がにの漁獲可能量が限られ、誘客に影響があったため、今期のズワイガニ漁の自主規制の内容や資源保護の考え方等について情報共有を図った。また、「蟹取県」とは何か、松葉がにの知られざるトリビアな話など、蟹を取り扱う地元関係者を対象にセミナーを開催した。

##### ② テーマ：旅行業界研究セミナー

開催日：令和元年12月9日

開催場所：ホテルセントパレス倉吉

講師：当連盟プロモーター、コーディネーター 合計4名

受講者：43名

概要：旅行業界内の統合再編や各航空会社における運賃変動料金制への移行をはじめ、観光関連業界を取り巻く最新の動向を情報共有し、一層効果的な誘客対策を実施して頂くため、当連盟の会員を対象にセミナーを開催した。

## 2 誘客対策強化事業

(公益目的事業2)

### (1) 県外旅行会社対策事業

決算額 16,226,236円(18,420千円)

首都圏、中部圏、関西圏、中四国・九州地区に観光プロモーターを配置して、次の事業に取り組んだ。

#### ア 販売促進活動事業

- ・各圏域4名の観光プロモーターが、旅行会社の企画造成部門、店頭販売部門等を日常的に訪問し、本県の基本的な観光情報、新たな旬の情報を提供するなど、旅行商品造成と販売促進のプロモーション活動を積極的に展開した。
- ・令和元年度上期は、「新元号令和施行」「鳥取西道路開通」「GW10連休」があり、旅行会社へのプロモーション、イベント出展を一層強化した。
- ・会員を対象に旅行業界研究セミナーを開催し、各観光プロモーターより、激変する旅行業界について、今後の業界動向や具体的な対策などについて、情報提供を行った。
- ・各圏域の動向を会員に提供し、会員による魅力ある観光地づくりに役立てていただくとともに、会員からの要請に応じて同行セールスにも積極的に対応した。
- ・観光プロモーターの持っている旅行業界で蓄積した知識や経験、幅広い人脈などが、会員の日々の観光振興活動にしっかり活かされるよう、引き続き県内各観光地との緊密な協力関係を構築した。(活動詳細は後出)

## イ 観光情報説明会開催事業

中部地区、関西地区、広島地区を対象に、旅行商品の造成に有効な情報を提供するため、春季及び秋季に年間2回説明会を開催した。

さらに、中部地区では、愛知県ANTA（全国旅行業協会）支部会員を対象に秋季説明会等を初めて開催し、中小の旅行会社へも県内観光素材の情報提供を行い、商品造成拡大に結びついた。

[観光情報説明会の開催状況]

順	説明会の区分	開催日	旅行会社 社数	旅行会社 人数	鳥取県 観光関 係者数	備 考
1	春季鳥取県観光情報説明会 中部	5/ 9	31	52	40	
2	春季鳥取県観光情報説明会 関西	5/10	22	41	55	
3	春季鳥取県観光情報説明会 広島	5/14	14	23	37	
4	秋季鳥取県観光情報説明会 関西	9/3	22	39	42	
5	秋季鳥取県観光情報説明会 中部	9/4	27	35	30	
6	秋季鳥取県観光情報説明会 広島	9/12	12	21	33	
7	中部ANTA鳥取県観光・食情報説明会	11/20	19	25	26	※1
8	中部JATA鳥取県観光交流会	1/28	4	7	5	※1

※1 鳥取県名古屋代表部からの委託で実施。

## ウ 旅行会社招致事業

[現地研修の状況]

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	主な視察先	備考
1	首都圏旅行会社	6/18-20	5	大堀	岩美・鳥取・はわい・砂丘	※1
2	エイチ・アイ・エス	10/15-17	2	大堀	鳥取・砂丘・三朝・倉吉・境港	
3	JTB中部国内仕入商品事業部	8/25-27	2	川角	境港・皆生・大山・倉吉・三朝	
4	旅行会社現地研修旅行	2/19-20	36	岡崎	倉吉・三朝・はわい・鳥取・砂丘	※2

※1 首都圏旅行会社現地研修にあわせ、ホテルモナークで東部地区の説明会を行った。

※2 中部、関西、中国地区の旅行会社の若手、担当部署着任3年目までの職員を対象に、東部地区を中心として研修を行った。

## (2) 旅行商品支援事業 決算額 25,445,000円(36,166千円)

県外からの誘客を促進するため、旅行会社が実施するバス旅行、パンフレット作成等の商品造成等に対して支援した。

### バス旅行商品支援事業

区 分	宿 泊	日 帰 り
補助の条件	◇1団体20名以上で催行の県外出発のバスツアー ◇連盟作成の素材集より観光・立寄り2か所以上、食事1か所以上の採択 ◇宿泊は、月～木曜日の県内宿泊（祝祭日の前日を除く） ◇日帰りは、土・日曜日、祝祭日を除く ◇2泊以上の場合は、同条件を泊数分追加	
補助期間	◇申請 平成31年2月1日～令和2年3月30日 ◇催行 平成31年4月1日出発～令和2年3月31日帰着	
補助内容	◇バス1台当たり30千円 ◇1事業所当たり600千円上限	◇バス1台当たり15千円 ◇1事業所当たり300千円上限
事業費	22,366千円（当初：30,000千円）	
執行額	13,140千円	2,775千円
	15,915千円	

実施結果	実施件数：310件 バス台数：433台 利用実績：13,823人 催行率：65.3%	実施件数：99件 バス台数：184台 利用実績：7,530人 催行率：66.4%
------	---	---

※台数は、延台数。宿泊の交付額は1泊当たり。

※令和2年3月11日出発分～令和2年3月31日帰着分については、新型コロナウイルス対策により、県の要綱が変更（交付要綱附則2「知事が別に定める日までの間」について）され、宿泊バス1台当たり60千円、日帰りバス1台当たり30千円を補助。

また、補助の条件のうち催行実績を1団体5名以上に変更。

## イ 旅行商品造成支援事業

補助の条件	◇鳥取県素材の露出・情報ページの掲出に関わるパンフレット作成 ◇販促目的の現地研修、店頭販促費等
補助期間	◇令和元年4月1日～令和2年3月20日
補助内容	◇1事業所 1案件当たり500千円を上限
事業費	9,750千円（県委託費用550千含む）
執行額	9,530千円（県委託費用550千含む）
実施状況	38件
主な案件	・三朝温泉最上級Sランクホテルに2連泊 ・岐阜バスながら会ツアー ・スーパーはくとで行く味覚太鼓判かに三朝、はわい温泉 ・令和元年度「大山環状ウォーク ・めっちゃかに鳥取・島根 ・星取県モニター

### (3) 緊急時観光振興対策措置事業

決算額 0円 (5,000千円)

## 3 誘客キャンペーン事業

(公益目的事業2)

### (1) 鳥取きなんせキャンペーン事業

決算額 20,750,319円 (39,059千円)

県外の集客施設等での観光イベントやキャンペーン及び情報発信により、来訪予定者に対する直接的なPRや来訪者に対するプレゼント等で、来訪や再来訪につながるPR等を実施した。

#### ア 観光PRイベント開催事業

自動車道整備や航空路線増便など、観光を取り巻く環境の変化に応じ、県外の商業施設や高速道路サービスエリア、観光関連イベント等で観光PRを行った。

- ・中国自動車道SA（加西）、米子自動車道SA（蒜山）での観光PR（年5回実施）
- ・マツダスタジアムでの観光PR（令和元年7月23日（火）、中日戦）
- ・「ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西」への出展（令和元年10月24日（木）～27日（日）、インテックス大阪）

#### <県外旅行会社店頭キャンペーン>

各圏域のショッピングセンターイベント広場や旅行会社店頭などで、パンフレット配布、ゆるキャラ撮影会や缶バッジ作成などで鳥取県観光PRを実施した。

順	タイトル（会場名等）	実施日	担当者	実施事項
1	JTBイオンモール東員店	5/19	川角	サンプリング、砂絵体験、砂の瓶詰体験
2	日本旅行Tis大阪	6/15-16	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
3	近畿日本ツーリストイオン鶴見緑地	7/7	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、砂絵体験
4	JTBトラベルゲート神戸三宮	11/10	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
5	日本旅行Tis大阪	12/21-2	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選
6	JTBイオンモール堺鉄砲町店	1/19	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選

## <大型ショッピングセンター等でのキャンペーン>

集客力の大きい都市近郊の大型ショッピングセンターやイベント会場などにおいて、着ぐるみとのジャンケン大会・記念撮影会、抽選会などを実施。観光パンフレット、ノベルティなどを配布し、鳥取県への誘客、旬の情報提供等PR活動を行った。

順	タイトル（会場名等）	実施日	担当者	実施事項（主なもの）
1	第7回夏山フェスタ（名古屋）	6/8-9	川角	県内の山岳案内、サンプリング
2	イオンモール八事	7/13	川角	サンプリング、ゆるキャラ、砂絵体験
3	東京シティアイ	9/26-27	大堀	サンプリング、蟹セミナー
4	東京シティアイ	2/6-7	大堀	サンプリング、アクティビティセミナー
5	名鉄 泊りハイキングフェスタ(中止)	3/ 1	川角	サンプリング、説明、茶菓子提供

## イ 蟹取県ウェルカニキャンペーンの実施

県内宿泊施設に宿泊された方に「鳥取のカニ」をプレゼントする「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を実施し、秋・冬季の観光誘客を図った。

- ・実施期間：令和元年9月1日（日）～令和2年2月29日（土）
- ・実施内容

### A 応募ハガキとWEB応募の受付・集約

- ・応募ハガキとWEB応募の受付整理  
⇒ 応募総数：17,593件（昨年度実績：16,759件）  
※対前年比105%
- ・アンケート記載内容の集計及び分析

### B 賞品の購入・発送

- ・応募はがきとWEB応募から、毎月100名の当選者を決定
- ・賞品である「鳥取の旬のカニ」を会員から購入して発送

### C 情報発信等

- ・県内の観光関連事業者の本県のカニの蘊蓄等を学んでいただく「蟹取県セミナー」を開催（8月1日（木）、約40名参加）
- ・蟹取県改名式への参加（9月1日（日）、鳥取砂丘コナン空港）
- ・県内外でのキャンペーンの周知及び機運醸成のため、広告出稿やPR活動を実施  
新日本海新聞社が発行する「日本海新聞」「週刊大阪日日新聞」の「鳥取のカニ」特集に広告を掲載（令和元年10月～令和2年1月、各紙2回）
- ・観光ガイドマップ及び観光パスポート「トリパス」に、キャンペーン告知を掲載し、県内外で配布
- ・大手旅行会社の店舗や大型ショッピングセンター、都市部のイベントなどでPR
- ・加西サービスエリア、蒜山サービスエリアでPR（9月、11月）
- ・高速道路SA等設置の観光フリーペーパーへの広告掲載（9月16日配布開始）
- ・日刊スポーツ（大阪本社版）のテレビ欄への広告掲載（9月発行紙すべて）
- ・「ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪・関西」での蟹取県ブース展開（10月24日（木）～27日（日））

## ウ ゆっくりしてごしない鳥取キャンペーン

- ・実施目的：県内での連泊促進及び県内における消費額の拡大を目的として実施した。
- ・実施期間：令和元年4月1日～9月30日／10月1日～令和2年3月31日
- ・対象会社：ANAセールス、日本旅行、近畿日本ツーリスト、HISなど
- ・実施内容：県内で連泊宿泊された方に、鳥取県内産直店や道の駅、鳥取県観光施設連絡協議会加盟店（除外店舗あり）で利用できる1,000円分のクーポン券を旅行申込旅行会社から提供した。
- ・実施結果：449件、449千円分の利用実績があった。
- ・その他：鳥取県観光客誘致促進協議会及び参画施設が利用額の一部を負担した。

## (2) 山陰デスティネーションキャンペーン事業

決算額 0円（2,000千円）

山陰両県とJRが連携して開催する「山陰デスティネーションキャンペーン」(山陰DC)のアフターキャンペーンとして、観光プロモーター等が各地域開催の説明会に参加して、

「Nostalgic San'in わすれがたき山陰」をテーマに観光素材の情報提供を行うなど、旅行会社に対する観光PRを実施した。

**(3) 緊急時観光振興対策措置事業** **決算額 585,750円(5,000千円)**

新型コロナウイルス対策として、鳥取県観光施設連絡協議会と連携して、県民向け特典広告を出稿した。(令和2年3月22日、日本海新聞半5段カラー)

**4 観光情報発信事業 (公益目的事業2)**

**(1) 観光情報発信強化事業** **決算額 20,497,615円(38,861千円)**

各種印刷物やWEBにより、本県の観光情報を発信した。

**ア 観光ガイドマップの作成**

トリパス、蟹取県ウェルカニキャンペーン、鳥取西道路開通等、時宜を得た広告を掲載し、計6回増刷した。(作成部数：30万部、簡易版：8万部)

**イ 観光素材集の作成**

旅行会社向けの営業用ツールとして、観光素材やイベント情報等を掲載した「観光素材集」を作成した。

- ・「2020年度版鳥取県観光素材集」(5,000部)
- ・「2020年度版鳥取県観光素材集・食事編」(3,000部)

**ウ ホームページ、SNSでの情報発信**

県内の観光情報を連盟ホームページサイト内のイベント情報、参加者募集、おすすめ情報の欄に随時掲出するほか、公式アカウントを有するフェイスブック、ツイッターで随時発信した。

- ・ホームページ：ページビュー数 約276万PV(令和元年度年間実績)
- ・SNSフォロワー数  
フェイスブック：6,614人(令和2年5月12日時点、前年同月比936人増)  
ツイッター：1,901人(令和2年5月12日時点、前年同月比602人増)  
インスタグラム：4,450人(令和2年5月12日時点、前年同月比2,198人増)

**エ「とっとり観光ニュース」の発行**

県内の旬の観光情報を写真と記事で紹介する「とっとり観光ニュース」を毎月1回計11回(うち1回は合併号)発行し、県外旅行社・マスコミ向けに送付(紙、メール等での送付箇所計1,200か所)したほか、プロモーター(首都圏、中部、関西、中四国九州)が営業の際に活用した。

**オ 卓上カレンダーの作成**

県内の美しい風景を鳥の視線で撮影した写真により「鳥取県とりの目カレンダー」を2,000部発行し、各プロモーターのセールス活動等に活用した。

**(2) とっとり観光親善大使活動事業** **決算額 2,266,951円(1,800千円)**

県内外の各種PRイベントや旅行会社訪問等に「とっとり観光親善大使」を派遣し、本県の観光PRを行った。

また、観光親善大使の選考会を実施し、新たに3名(うち1名は継続)を委嘱した。

- ・令和元年(平成31年)度の派遣実績：派遣回数34回(延35人)
- ・とっとり観光親善大使選考会の概要  
開催日：令和元年8月28日(水)  
場所：とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5)  
応募者：21名(当日参加者17名)  
合格者：3名(倉本真梨菜、岩本真弓、川島奈美希)
- ・任期 令和元年8月29日から令和3年10月31日まで
- ・研修会の実施：観光親善大使選考後、ビジネスマナー講師及び元とっとり観光親善大使を講師とした研修会や、県内観光地視察を実施。

**(3) 連盟推薦みやげ品PR事業** **決算額 168,730円(200千円)**

本県の観光土産品の内容・評価を高めるため、推薦観光みやげ品の指定を行った。

- ・審査会：令和元年10月28日(月)
- ・審査員：鳥取県観光みやげ品協議会長 河越行夫氏 ほか4名
- ・場所：ホテルセントパレス倉吉
- ・指定品目：9品目、18点(認定期間は2年間)

**(4) フィルムコミッション事業** **決算額 7,376,927円(8,284千円)**

「鳥取県フィルムコミッション」の専任職員を増員配置し(令和元年9月より2名体制)、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、広告写真などのロケーション撮影が円滑に行われるよう、支援業務や誘致活動を行った。

- ・ロケ候補地の情報収集と情報提供
- ・撮影ボランティアエキストラなどの募集、手配の協力
- ・国、県、市町村、警察など公的機関への必要な許可申請手続きの案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ロケハン、ロケーション撮影の同行
- ・ホームページの開設運営(ロケ地情報の充実)、SNSによる支援作品の情報発信
- ・全国ロケ地フェアへの参加、ジャパンFCへの加入等を通じたロケーション撮影の誘致
- ・支援作品を通じた、観光客誘致活動

<ロケ支援等の状況>

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
問合せ件数	111	112	98	91	107
公開件数	58	61	49	47	56

<主な実績>

(え)

- ・映画：全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」(令和2年夏公開予定)
- ・TVアニメ：ウェブコミックで単行本化された人気マンガのテレビアニメ鳥取編(令和2年9月公開予定)
- ・TVドラマ：「孤独のグルメ Season8 鳥取編」
- ・TV番組：「秘密のケンミンSHOW～鳥取&島根・山陰総選挙～」

以上、各種媒体への露出により、本県観光の誘客につながるよう情報発信した。

**5 会員等との連携事業 (相互扶助等事業)**

**(1) 他団体との連携事業** **決算額 431,238円(500千円)**

鳥取県観光施設連絡協議会へ助成を行うとともに、観光関連機関との意見交換を行った。

**(2) 地域別戦略会議開催事業** **決算額 108,821円(200千円)**

各地域のDMO・観光協会・行政関係者が一堂に集い、県内の各地域が抱える課題等について幅広く議論し、課題解決に向けた意見交換や情報共有のための戦略会議を実施した。

○東部

開催日・場所：令和元年7月29日(月) 県立図書館小研修室

参加者：12名

内容：観光連盟・各観光協会の取組紹介、旅行会社の動向、県からの情報提供 等

○西部

開催日・場所：令和元年6月25日(火) ホテルハーベストイン米子

参加者：25名

内容：観光連盟・各観光協会の取組紹介、観光プロモーターからのアドバイス、観光事業者・旅行者からのコメント 等

**(3) 観光プロモーター派遣事業** **決算額 106,000円(300千円)**

相談者からの要望に応じ、観光プロモーターが現地視察を行い、観光振興の取組について提案や意見交換を行った。

開催日：令和元年11月12日～13日  
視察場所：たたら楽校根雨楽舎、大山レークホテル、日南町美術館、  
奥大山ブルーベリーファーム、サントリー天然水奥大山ブナの森工場、  
エバーランド奥大山、江尾神社など  
参加者：江府町職員、鳥取県日野振興センター職員、当連盟観光プロモーター4名他

## 6 収益事業

### (1) 観光関連商品作成事業 決算額 945,423円(1,000千円)

収益事業として、開運八社巡りの成年開運手ぬぐいと観光名刺台紙の作成を行った。

- ・子年開運手ぬぐい 2,500枚
- ・観光名刺台紙 1,500枚

## 7 総会、理事会等

連盟の総会、理事会および監査を次のとおり実施した。

### (1) 総会

#### ア 通常総会

- 開催日 令和元年6月25日(火)  
場所 倉吉シティホテル  
議事  
・平成30年度事業報告について  
・平成30年度収支決算について  
・役員を選任について  
報告事項  
・令和元年度補正予算について

#### イ 臨時総会

- 開催日 令和2年3月25日(水)  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
議事  
・役員を選任について  
・定款の変更について  
報告事項  
・令和元年度補正予算について  
・令和2年度事業計画について  
・令和2年年度収支予算について  
・複数年度にわたる契約について

### (2) 理事会

#### ア 通常理事会(第1回)

- 開催日 令和元年6月4日(火)  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
議事  
・平成30年度事業報告について  
・平成30年度収支決算について  
・令和元年度補正予算について  
・令和元年度観光事業功労者及び観光事業優良従業員表彰について  
・会員の入会について  
・通常総会の招集について  
協議事項  
・役員を選任について

#### イ 臨時理事会(第1回)

- 開催日 令和元年6月25日(火)  
場所 倉吉シティホテル  
議事  
・会長、副会長及び専務理事の選任について  
・就業規則の改正について  
・有期職員就業規則の改正について

#### ウ 臨時理事会（第2回）

開催日 令和元年9月24日（火）  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
議事 ・令和元年度補正予算について  
職務執行状況報告  
協議事項 ・令和2年度予算編成に向けた意見交換

#### エ 臨時理事会（第3回） 書面決議

開催日 令和2年1月21日（火）  
議事 ・令和元年度補正予算について  
・会員の入会について

#### オ 通常理事会（第2回）

開催日 令和2年3月6日（金）  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
議事 ・令和2年度事業計画について  
・令和2年度収支予算について  
・就業規則の改正について  
・有期職員就業規則の改正について  
・育児休業及び介護休業等に関する規則の改正について  
・会員の入退会について  
・債権の放棄について  
・複数年度にわたる契約について  
・臨時総会の招集について  
職務執行状況報告  
協議事項 ・新型コロナウイルス感染拡大への対応について

#### カ 臨時理事会（第4回）

開催日 令和2年3月25日（水）  
場所 ホテルセントパレス倉吉  
議事 ・専務理事の選任について  
・組織規程の改正について  
・観光プロモーター等配置規程の制定について  
・専務理事就業規則の制定について

### (3) 監査

実施日 令和元年5月22日（水）  
場所 鳥取市  
事項 平成30年度事業実施状況及び収支決算状況